

ワークショップ企画

“雨乞いの楽器・レインスティックをつくろう！”

本展覧会のテーマ「傘」は、雨と切っても切れない関係にあります。雨の日は気分が沈みがちになるものですが、角度を変えてみれば、恵みの雨でもあります。

雨の少ない地域には、神様に雨を降らすようお願いするための「雨乞い」をする文化がありました。

このワークショップでは、雨乞いの儀式に使われていた“レインスティック”という楽器を身近にある素材で制作します。

●レインスティックとは？●



直訳：雨の音がする棒

用途：雨乞いの儀式の際に歌と一緒に演奏されていた

素材：死んで乾いたサボテン（南米の Normata という種類）

構造：内部は空洞になっており、サボテンの刺が螺旋状や十字に差し込まれている

更にその中に2～5mmほどの小石を入れることで独特の音が生み出される

※小石ではなくサボテンの種、穀物、蟻のフンの場合もあり

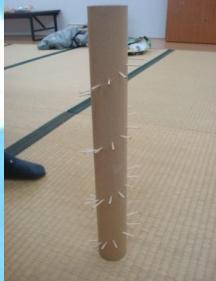
●レインスティックの作り方●

①



紙筒に1cm間隔でらせん状に印を付け、釘と金槌を使い小さな穴を開ける

②



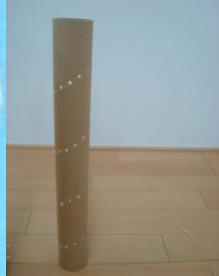
この穴に爪楊枝を突き通す

③



すべての爪楊枝の出ている部分をニッパーで切る

④



外側から爪楊枝にボンドを付け出でこないようにする

- ⑤  筒の周りを厚紙で覆い、色紙やリボンで装飾する
- ⑥  丸く切ったスチレンボードで筒の片側を蓋する
※この時スチレンボードの部分を写真のように装飾しても良い
- ⑦  米、豆、パスタを碎いたもの、小石、柿の種、乾パンなどの中身を入れる
- ⑧  スチレンボードで完全に蓋し、筒の両端を色紙やリボンなどで装飾して完成

このワークショップで制作したレインスティックを展示しています。
それぞれのレインスティックで中身が違っており、音も異なります。
よろしければ手にとって音を鳴らしてみて下さい。

主催：チーム 良＼(宣)／男